



令和4年(2022年)6月2日(木)

広島市安佐動物公園 管理課長：与倉

担当：企画広報係 梅田、川田 ☎082-838-1111

## マルミミゾウが来園しました

この度、安佐動物公園に新しいマルミミゾウ舎が5月12日に完成し、6月2日(木)にマルミミゾウの雄1頭が秋吉台自然動物公園サファリランド(以下、秋吉台サファリランド)から来園しました。来園した雄は、現在飼育している雌との間で繁殖を目指します。

### 【マルミミゾウの来園について】

#### 1 概要

新マルミミゾウ舎は、床面積181㎡の鉄筋コンクリート造で、床暖房を備えます。開閉式のサンシェードと体重計を備える40㎡のサブパドックがあり、運動場は501㎡です。また飲水は温水が出る自動給水装置となっています。

マルミミゾウは、世界の動物園では3頭しか飼育されていないとされる(安佐動物公園調べ)希少な種であり、そのうちの2頭が日本で飼育されています。1頭は平成13年から安佐動物公園で飼育する雌の「メイ」、もう1頭は今回来園した雄の「ダイ」です。

今後、この2頭の相性や雌の発情などを十分観察し、タイミングを見計らって同居させるなど繁殖に取り組めます。

#### 2 移動経緯

6月2日 8:00 ゾウを輸送箱内に収容開始  
8:30 輸送箱への収容完了  
9:45 秋吉台サファリランド出発  
12:35 安佐動物公園到着  
13:45 ゾウ舎への収容作業開始  
14:00 ゾウ舎への収容完了



雄のマルミミゾウ「ダイ」  
秋吉台サファリランドにて

#### 3 映像の提供について

動物と職員の安全を確保するため、6月2日の取材でのご来園はご遠慮ください。今回の移動に伴う一連の作業の様子は、当園で撮影した映像を提供いたします。6月3日以降の取材については、別途お問い合わせください。

#### 4 公開について

公開時期については未定です。公開時には再度広報いたします。

### 【マルミミゾウの分類について】

従来アフリカゾウには、サバンナにすむ大型のサバンナゾウと、森林にすむ小型のマルミミゾウの2つの亜種があるとされていました。しかし、2010年にアメリカのハーバード大学などのDNA分析では両者に大きな違いがあることから別種であるとされ、現在では、サバンナゾウ(*Loxodonta africana*)とマルミミゾウ(*Loxodonta cyclotis*)の2種に分類されています。

メイは、平成13年5月に導入後、成長が遅いことや耳の形が異なることから、2008年に上海復旦大学の研究グループに遺伝子解析を依頼した結果、マルミミゾウであると確定しました。同様に、秋吉台サファリランドに同時に導入したダイも遺伝子解析によりマルミミゾウと判明しました。メイ、ダイともに推定23歳です。

**開園時間** 午前9時から午後4時30分まで(ただし、入園は午後4時まで)

**入園料** 大人510円、65歳以上(適用には公的証明書が必要)・小人(高校生及び18歳未満)170円  
※乳幼児、小・中学生は無料

**休園日** 毎週木曜日(ただし、祝日の場合は開園)